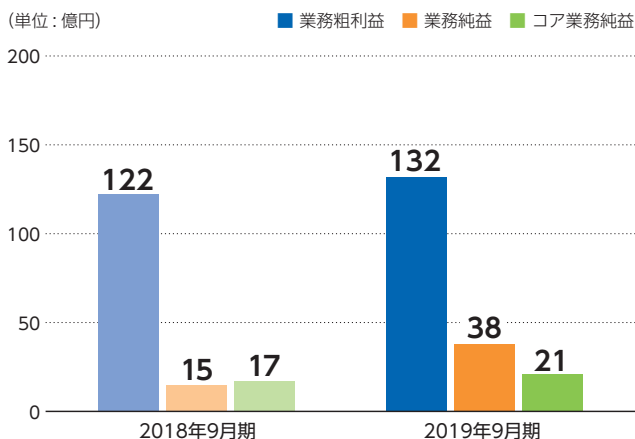


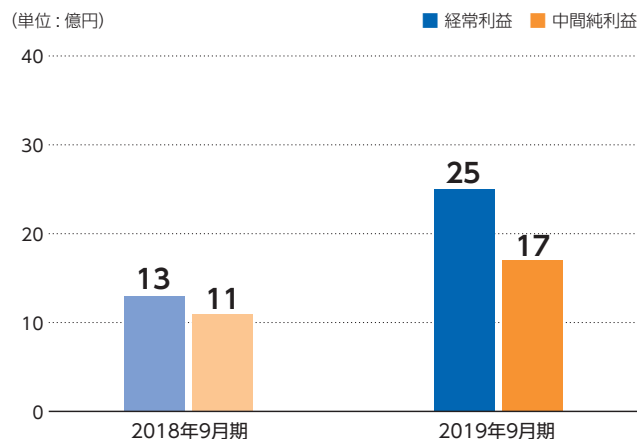
2019年9月期の決算についてお知らせします。

■ 主要損益の状況

業務粗利益・業務純益・コア業務純益〈単体〉

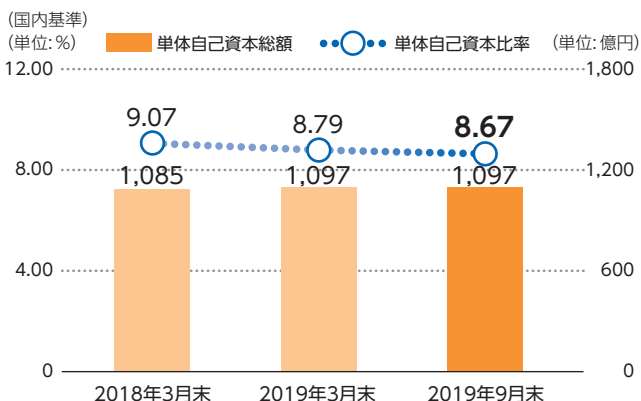


経常利益・中間純利益〈単体〉



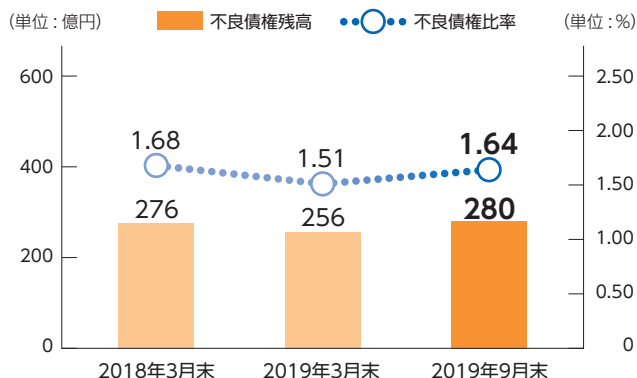
資金利益、役員取引等利益の増加のほか、国債等債券売却損が大きく減少したことなどから、業務粗利益、業務純益及びコア業務純益は前年同期比増益となりました。不良債権処理額は増加したものの、上記の要因により、経常利益、中間純利益ともに前年同期比増益となりました。

■ 自己資本比率〈単体〉



2019年9月末の単体自己資本比率は貸出金の増加を主因としたリスクセットの増加により8.67%と前期比低下しておりますが、健全性を十分に確保しています。

■ 不良債権



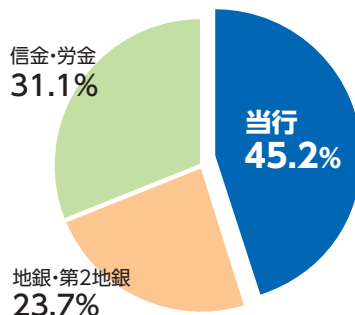
2019年9月末の不良債権残高は、前年度末比24億円増加し、280億円となりました。また、総与信に占める割合は、前年度末比0.13ポイント上昇し1.64%となりました。

■ 預金・貸出金シェア

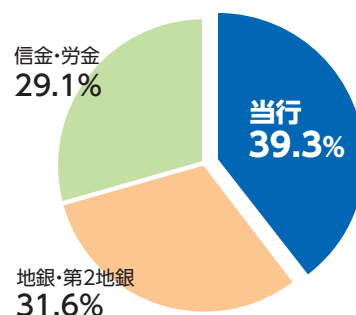
(2019年9月末現在)

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っております。引き続き、地域のみなさまから信頼される銀行を目指してまいります。

福井県内の預金シェア



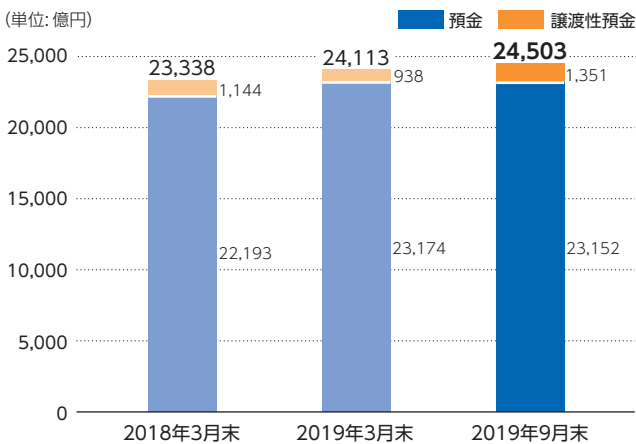
福井県内の貸出金シェア



■ 預金等残高・預り資産残高

預金等

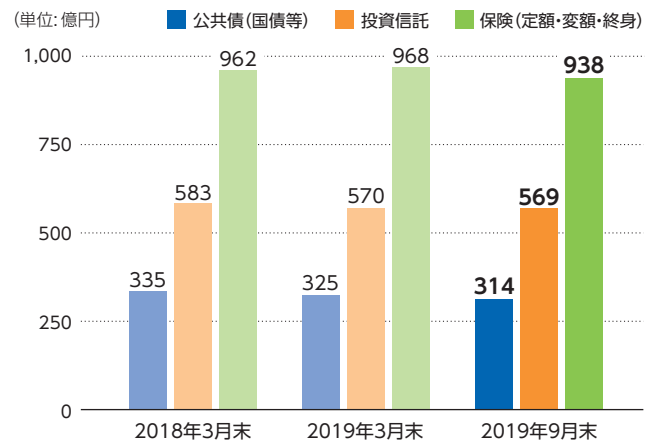
(単位: 億円)



譲渡性預金を含む預金等は、個人・金融・公金が増加したことから、全体で期中390億円増加し期末残高は2兆4,503億円となりました。

預り資産

(単位: 億円)



公共債(国債等)は、期中11億円減少し期末残高は314億円となりました。投資信託は期中1億円減少し期末残高は569億円となりました。保険(定額・変額・終身)は、期中30億円減少し期末残高は938億円となりました。

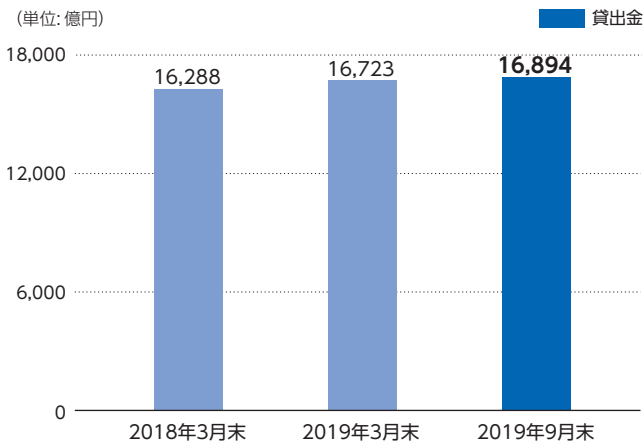
公共債(国債等): 額面ベース 投資信託: 純資産残高ベース(口数×基準価額÷1万口)

保険(定額・変額・終身): 払込保険料の合計額

■ 貸出金残高・消費者ローン残高

貸出金

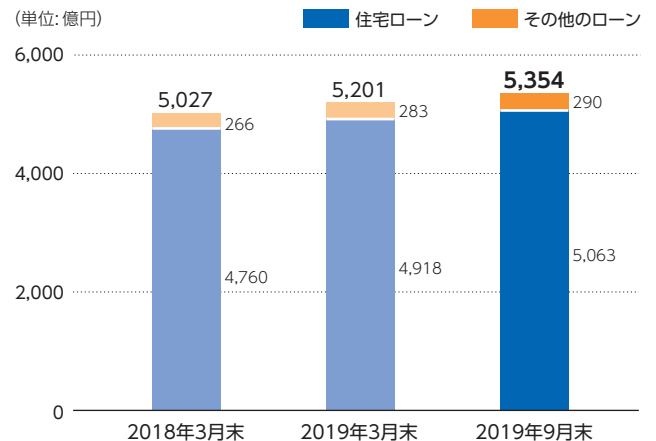
(単位: 億円)



貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出が増加したことから、期中171億円増加し期末残高は1兆6,894億円となりました。

消費者ローン

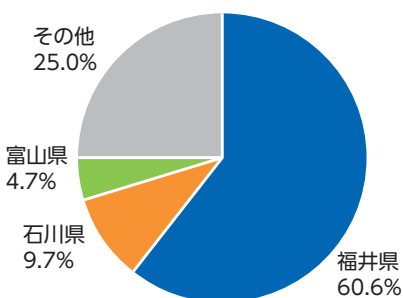
(単位: 億円)



消費者ローンは、期中153億円増加して期末残高は5,354億円となりました。うち住宅ローンは、期中145億円増加して期末残高は5,063億円となりました。

■ 貸出金の地域別内訳・中小企業等向け貸出金

貸出金残高の地域別内訳

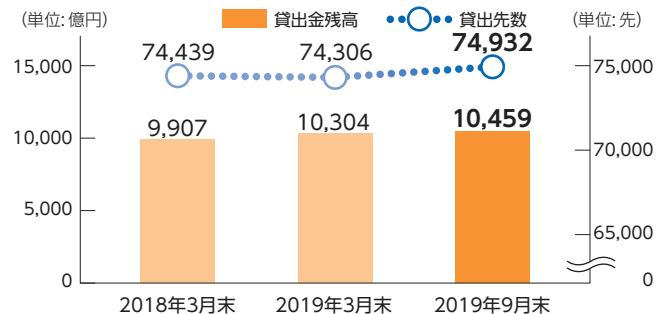


2019年9月期	(単位: 億円)
福井県	10,243
石川県	1,636
富山県	789
その他	4,225
合計	16,894

北陸3県内での貸出金は1兆2,668億円(うち福井県内1兆243億円)であり、貸出金全体の75.0%(うち福井県内60.6%)となっております。

中小企業等向け貸出金

(単位: 億円)



中小企業等向け貸出金残高は期中155億円増加し1兆459億円となり、総貸出金残高の61.9%となりました。また、貸出先は、期中626先増加し74,932先となりました。